

研究会・研修会等への 報告者・講師の派遣

○「令和6年度「第55期生」報徳講義」

主 催 J A カレッジ

と き 令和6年7月10日

テーマ 協同組合と報徳

講 演 石田 健一（当研究所・常務理事）

○「協同組合ネット北海道

協同学習・交流会」

主 催 協同組合ネット北海道

と き 令和6年7月19日

テーマ 協同組合論

講 演 石田 健一（当研究所・常務理事）

○「独立行政法人国際協力機構・

2024年度課題別研修」

主 催 公益財団法人北海道農業公社

と き 令和6年8月26日

テーマ 農民参加による農業農村開発

講 演 石田 健一（当研究所・常務理事）

人 事 異 動

<新 任>

特別研究員 中 平 朋 典
(8月1付)

編 集 後 記

今年の夏も暑かったですね。暑かったのですが、昨年
に比べると我慢できる範囲
かとも思いました。

では、いつから北海道の夏を暑く感じ
るようになったのでしょうか。そこで、調
べてみました。やはり、昨年は異常に暑
かったのです。

気象庁によると、令和五年の世界の年
平均気温偏差（その年の平均気温と、ベ
ースとなる一九九一年～二〇二〇年の三
〇年間の平均気温との差を示します）は、
統計を開始した明治二四年（一八九一年）
以降、最も高くなりました。日本におい
ても、令和五年の年平均気温偏差は、統

計を開始した明治三一年（一八九八年）
以降、最も高い値となりました。（十一・
二九℃）

日本の平均気温は、長期的には一〇〇
年あたり一・三五℃の割合で上昇してお
り、特に一九九〇年代以降高温となる年
が多くなっており、産業化（農業的社会
から工業化に代わるプロセス）との関連
があるのではとされています。

また、令和五年は日本近海の海面水温
も高い状態となっており、月平均海面水
温はすべての月で平年より高くなりました。

特に九月は平年差十一・六℃となり昭
和五七年以降で、最も高い海面水温でし
た。

実は、二〇二〇年までの一〇〇年間で
日本近海の海水温は一・二四℃上昇して
おり、日本の漁獲量は二〇一四年比で五
二万トン減少しています。

なかでも、サンマ、スルメイカ、サケ
の三魚種は二〇一四年から約八割減の一
〇・八万トンに急減しています。

今年は、サンマについては口にする機会が多い年でしたけれど、来年は難しいかも。

さて、豪雨、猛暑、大雪などの極端減少の発生に対して、地球温暖化がどの程度影響を与えていたかを統計的に分析する試みを「イベント・アトリビューション」(以下E A)と呼ぶそうです。

地球温暖化が進行した現実の条件と、産業化以降の人間活動による地球温暖化が起こらなかったと仮定した条件で、それぞれ多数のシミュレーションを実施し比較することで特定の極端現象の発生に対する地球温暖化の影響を確率的に評価する手法です。

令和五年七月下旬から八月月上旬の日本の記録的な高温に対して確率的E Aを実施したところ、今年に入って発生したエルニーニョ現象などの影響と地球温暖化の影響が共存する状況下では、一・六五%程度の確率で起こり得たことがわかりました。

これは六〇年に一度しか発生しない

非常にまれな事案であったことを意味するそうです。

これに対し、地球温暖化の影響が無かったと仮定した状況下では、その他の気候条件が同じであっても、発生しない事例であったことが分かりました。(文部科学省報道発表から)

今後、北海道の気温は上昇傾向にあり、温室効果ガスが最も高程度の排出が続くと仮定した場合の将来予測として、二一世紀末には、年平均気温は五℃程度の上昇が見込まれています。

その際、季節別では、冬の上昇が大きいことや、大雨や短い時間に激しく降る雨が、ほぼ毎年の現象になると予測されています。(札幌管区気象台予測)

温暖化により、北海道の農業は品種が増え、収穫できる地域が広がるようです。

それだけを聞くと道民にとっては、温暖化も悪くないと思いますが、同時に、病害虫の被害が増え、大雨など自然災害に見舞われる可能性も高くなるようです。気象庁などは、温暖化に対する緩和策

や適応策が欠かせないとの見通しを立てています。

昨年の暑さが極端な現象だったとしても、気温上昇の傾向が継続することを思う時、私たちは、農業に限らず、自然との向き合い方を今一度考えてみる必要があります。

(今野貴紀)

「地域と農業」第135号

発行：一般社団法人 北海道地域農業研究所

〒060-0806

札幌市北区北6条西1丁目4番地2

ファーストプラザビル7階

☎ 011 (757) 0022

Fax 011 (757) 3111

HP : <https://www.chiikinouken.or.jp>

E-mail : office47@chiikinouken.or.jp